市債依存度5.3%
プライマリーバランス1460億円の黒字

政令指定都市で1位の評価

第4回定例市会終わる

代表質疑　横畑　和幸　議員

一般会計決算及び特別会計決算等を審議する第四回定例市会は提案された72議案を採決して12月22日閉会しました。

17年度の市税収入は、8年ぶりの増収ですが、依然平成2年度の頃の水準です。また、震災に伴う公債費負担はピークをすぎたものの未だ高水準にあり、少子高齢化の到来で社会保障費も増加するものとみられます

一方で一般決算における市債依存度は、5・3%と政令市でもっとも低く抑え、プライマリーバランスも1460億円の黒字。他都市を大きく引き離して1位で、民主党ではこれを評価し、要望を附して決算を認定いたしました。

また、市会最終日には、神戸市議汚職事件を受けて、政治倫理の確立に関する決議がなされ、神戸市政治倫理綱領が定められました。

大井としひろ議員は、民主党会派を代表して、①都心の回遊性向上について、②阪神高速山手線（南伸部）の整備状況について、③須磨多聞線の整備状況について、④須磨区内のマンション紛争の事前防止策等について都市計画局長に質問しました。

大井としひろの　おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi/ に詳細を掲載しております。是非ご覧下さい。

代表質疑に立つ横畑和幸議員

民主党は代表質問に**横畑和幸**議員（東灘区）が立ち、入札改革。職員の不祥事問題。待機児童。医師確保。高齢者若年者障害者の雇用対策。神戸空港の今後についてなど13項目にわたって市長に見解や見通しを質しました。

老々介護世帯の支援体制が急務では

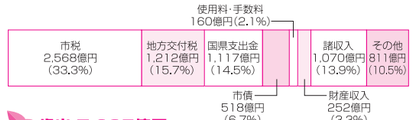
神戸市は1人暮らし世帯が6万世帯。介護保険では、2・2万世帯、3万3500人が対象となっている。介護疲れで心のケアがいる場合もあり、認知症者についても危惧している。高齢者が地域から孤立しないよう具体的支援を考えていきたい。

新産業の構築に美容産業に着目すべきでは

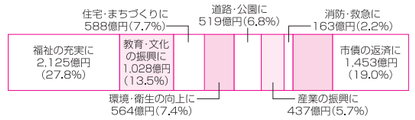
滞在型観光として、ジャズ・夜景に取り組んできたが、美容や健康、癒しのニーズも高い。有馬温泉などで取り組まれており、今後検討していきたい。

平成17年度一般決算の概要

1 歳入 7,708億円
市の収入にはどのようなものがあるのですか？



2 歳出 7,635億円
市税収入などはどのような分野に使われているのですか？



3 市民1人当たりでは、50万1千円の市民サービスを行っています

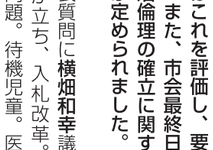
決算特別委員会（11月30日から）

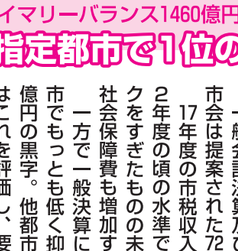
第1分科会	【行財政局】	荻阪伸秀議員（長田区）
	【企画調整局】	向山好一議員（北区）
	【環境局】	向山好一議員（北区）
	【国際文化観光局】	藤原武光議員（垂水区）
	【保健福祉局】	田中健造議員（北区）
	【市民参画推進局】	藤原武光議員（垂水区）
第2分科会	【建設局】	川内清尚議員（垂水区）
	【都市計画総局】	大井敏弘議員（須磨区）
	【産業振興局】	横畑和幸議員（東灘区）
	【みなと総局】	前島浩一議員（西区）
	【消防局】	前島浩一議員（西区）
	【教育委員会】	崎元祐治議員（須磨区）

この代表質疑ののち招集された決算特別委員会では、副委員長に**橋本秀一**議員（西区）が就任。委員会に民主党からは、次ぎの9名がそれぞれ局別審査にあたり、市長・助役に対する総括質疑は、**崎元祐治**議員（須磨区）議員が行いました。

来春大学開校で増発するポートライナー

新港第1突堤はコンベを開始
ウォーターフロントの賑望も課題に





代表質問に立つ大井としひろ議員

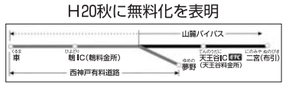
主な決算認定にあたっての要望項目

- 教育委員会に相談処理プロジェクトチームをつくり、あらゆる相談処理に対処できる体制を構築されたい。
  特に、地域にすむ経験豊かな人材や卒業生などの第三者が校内で相談事業を行うオンブズパーソンの導入を図られたい。
- 環境行政の一環として進めている『ひまわり収集』については、一層の拡充に努めるとともに、『ひまわり110番』についても、市民に制度が周知されるよう一層のPRに努められたい。

- 神戸空港の運用時間の延長やダイヤの改善を国及び航空会社各社にも強力に要請されたい。
- 山麓バイパスのETC導入に向けては、回数券割引に相当する料金設定を検討されたい。

神戸空港西側護岸の人工海浜も暫定供用開始

西神戸有料道路（車から夢野）は
H20秋に無料化を表明



- 次世代消防救急伝達情報システムの構築にあたっては、危機管理室との連携を強化し、全市的な対応をすすめるとともに、耐震性に配慮した拠点整備に努められたい。

19年度予算における主な民主党の重点要望

市長・助役に民主党は、約170項目の予算要望を行ないました。

詳しくは民主党のホームページに掲載しております。

特色ある神戸教育の実現

- 教育委員会の強い指導のもと、生徒指導に重点を置いた体制づくりの強化を。
- 地域に住む経験豊かな人材や卒業生等の第三者が校内で相談事業を行うオンブズパーソンの導入を。
- 学校現場の安全確保対策や学校耐震化工事の早期達成を。

さらなる福祉の充実

- 少子高齢化社会において、高齢者が地域の街づくりの重要な一員として社会活動への参加機会の増加など経験を活かせる場の提供を。
- 障害者の雇用促進。障害者の立場から見たユニバーサルデザインの推進で誰にもやさしい街づくりを。
- 子育て先進都市として、子育て支援ネットワークを充実。待機児童の解消を。

環境先進都市の実現

- ゴミの分別収集の徹底推進と資源化の促進で、ゴミの減量化に努め、美しい神戸の街づくりを。
- 環境先進都市の取り組み状況や課題を調査研究し、「環境先進都市神戸」を。
- さらに、環境産業の誘致、育成、発展に努め、産業振興・雇用拡大を。

神戸経済の活性化と神戸空港の活用

- 神戸医療産業都市構想の飛躍的前進を。
- 医療機器開発センター（MEDDEC）は運営の今後のあり方も含め、一層の強化充実を。
- スーパー中枢港湾の早期整備で、取扱貨物量を増やし神戸港の港勢拡大を。
- 神戸空港の活用については、運用時間の延長、ダイヤの改善、神戸空港の優位性・利便性にたった可能な限りのインセンティブ策を活用して企業誘致を積極的に進められたい。

観光文化先進都市の実現

- 神戸が持つ観光資源の活用と発掘や新たな観光拠点整備を進め、神戸の魅力を一段と高める「観光文化先進都市」の構築を。
- ウオーターフロントの再開発を最重要課題と位置づけ、南北および東西のアクセスには、LRTなどの導入の検討を。
- 製造業・小売業・商店街・チャー企業等に対しては、資金供給、技術支援、ビジネスマッチング・賑わいの創出・地域活性化対策など多様な支援で、元気な産業のまちの復興を。
- 雇用の創出・維持・安定に向け、新たな2万人の雇用創出は、正規社員として雇用できる場の創出を。
  特に、若年層に対する就業支援、大量退職する団塊の世代への雇用継続支援に向けた環境整備を。

産業のまち神戸の実現と雇用対策の充実

- 新しい神戸の街づくりに、各界各層の幅広くその道に卓越した人材を招致し、神戸に住み活動を展開し、さらに有能な人材が集い、人が育つ、スペシャリストを輩出する素地風土づくりを。
- 兵庫運河の更なる再整備など、各区の文化の醸成及び観光交流都市の発展等に反映できるよう観光資源の活用と整備を。
- 阪神三宮駅東口を含むJR三宮駅周辺は、神戸の玄関口に相応しい魅力と賑わいのある都市アメニティとしての整備を。

このほか、**安全・安心なまち神戸の実現。協働と参画のさらなる推進。民間の知恵と力の活用。行財政改革のさらなる推進と公正な行政の実現。**合計11項目を要望いたしました。

交通ネットワーク整備と都市アメニティの向上

- 新神戸トンネルの阪神高速道路への移管、阪神高速湾岸線8期の建設着工と9期の都市計画決定を。

民主党兵庫県連（参議院議員）のあいさつ　辻代表

民主党兵庫県連第9回大会政経セミナーを開催

昨年十一月に民主党県連大会ならびに小沢代表を迎え、政経セミナーを開催しました。多数のご参加を賜わり盛会のうちに終了しました。

なお、4月の統一地方選挙における公認等の候補者名が発表されました。

詳しくは、**民主党兵庫県連のホームページ**をご覧下さい。

民主党が採択した陳情・請願

フォーラム神戸から提出された、障害者の雇用促進を求める陳情を全会一致で採択しました。

コンプライアンス条例に続き
政治倫理綱領を制定

政治倫理委員会終結

委員長報告をする荻阪伸秀議員

政治倫理確立委員会は、本会議最終日に荻阪伸秀委員長より最終報告があり終結しました。

決議には、矢田市長も政治家の一人として賛同し、民主党が求めてきた結果となりました。

なお、コンプライアンス条例は1月1日から施行。概要等左図のとおりです。1月号の広報こうべにも詳しく紹介しております。是非ご覧下さい。